

	チェック項目	回答率		評価後の改善目標、工夫している点のまとめ
		はい	どちらともいえない	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8		十分な広さを確保して適切である。
	2 職員の配置数は適切であるか	8		適切であり、基準以上の職員を配置している。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	1	1 勝手口より車椅子でも入ることができるように既存のスロープがある。また設置型のスロープもある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	2	それぞれモニタリング評価し目標を設定する。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8		集計結果をまとめて文書化し共有している。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1	ホームページに公開している。 https://www.kouai-fukuoka.jp/downloads/
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	2 第三者評価を行っていない。職員にもそれを周知する必要がある。
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8		各自受けたい研修を募る。研修制度を用いて全て法人が負担とする。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8		全ての児童を対象に適切に対応する。
	10 子どもの適応行動の状況を認めるために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8		契約時、専用のアセスメントツールを保護者へ配布し家庭での適応行動の状況を認めている。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	それぞれ役割を分担して効率的にプログラムの立案をしている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	子どもたちの主観で決めている。子どもたちには何かやってみたいことがないか聞いている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7	1	それぞれに応じてサービス提供時間内で出来るよう課題を設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	8		願望や要望によりできることを活かした支援計画を作成している。（ストレングスマodel）
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	4	できていない日があるので、前日に大まかな確認をし、当日に要点の確認をする。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1	記録の入力作業があるので、多々振り返る。記録はクラウド上にあるのでいつでも共有することができる。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8		支援中も常に記録を欠かさない。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8		制度に沿って行っている。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7	1	基本活動を行っているつもりだが、ガイドラインに沿った支援をする。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した人もふさわしい者が参画しているか	8			児童との関係が構築された者が参画する。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8			常に行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	5	2	今現在、医療的ケアが必要な子どもはいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5	2	個人情報保護の観点から厳しい。保護者から情報を提供していただいている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	1	5	2	今年度初めて当事業所から卒業生がいたが、新型コロナウイルスの影響もありできていない児童もいる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5		専門機関が行うセミナー等には参加しているが、連携までには至っていないこともある。状況に応じて連携を図ることができるよう努める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	4		公園遊びや課外活動では接触はするものの、活動の一貫としてはまだ聞かれていない。今後活動の一環として取り入れるか検討する。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	1	6	1	個人的に参加している職員もいるが、全員が参加に至っていない。令和2年度は職員全員が参加できるように促していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			共通理解を持っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	5		現時点でペアレント・トレーニングは行っていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2		契約時にしっかりと説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	1		適切に応じているつもりだが、将来のこととなると対応が分かれる。将来についても適切な助言ができるように心掛けたい。（必要であれば専門機関を紹介している）
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	2	父母の会の活動を支援しているが、保護者会による保護者同士の連携という名目での支援はあまり行っていない。今後連携を図るためのセミナー等の開催を検討する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2		事実関係の確認が取れず改善にいたらないことがあった。その為苦情解決書を改め、これをもとに解決に努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	3		毎月の利用予定表に活動予定を記載している。
	35	個人情報に十分注意しているか	6	2		十分注意している。利用者間の個人情報のやり取りについては、保護者へ報告や確認を行っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	1		連絡帳や送迎時に口頭にて話をしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	3		夏祭りを通じて地域住民や関係機関を招待している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6	2		契約時に説明はしているが、対応職員によっては十分にできていないことがある。差を無くすため、今後は共通して周知を徹底する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			管轄の消防署へ届け出を行い、年に2回、訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	1		外部の研修を受講する取り組みを行う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1		全ての個別支援計画書に記載し、保護者様へ十分に説明し了承を得る。やむを得ず身体拘束を行う場合は記録を取っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	5	1	契約時に確認をしている。食事提供やおやつの際は十分注意しているが、場合によっては、保護者様で準備してもらうなどの対応をお願いしている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	5		事例集を作成しているが十分に周知していなかった為共有できていない。今後は事例集を用いて研修を行う。